

データで見る! さっぽろ経済の動き

札幌の景気は、今どのような状況にあるのでしょうか？

「データで見るさっぽろ経済の動き」では、最近の札幌市や北海道の主な景気指標を時系列にまとめ、データやグラフを交えて、経済の動きを分かりやすくお伝えします。

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

| | |
|----------------------|-------|
| 1. 最近の札幌経済の概況 | p. 1 |
| 2. 主要経済指標の動き | p. 2 |
| (1) 個人消費の動向 | p. 2 |
| (2) 住宅着工の状況 | p. 5 |
| (3) 鉱工業の生産動向 | p. 5 |
| (4) 公共工事の動向 | p. 6 |
| (5) 雇用情勢 | p. 6 |
| (6) 倒産状況 | p. 7 |
| (7) 観光客の動向 | p. 7 |
| 3. 札幌の産業規模のまとめ | p. 8 |
| (1) 人口の動向 | p. 8 |
| (2) 事業所、従業員の動向 | p. 10 |
| (3) 市内総生産、市民所得 | p. 11 |
| (4) 企業の景況感 | p. 12 |
| 【参考】主要経済指標 | p. 13 |







1. 最近の札幌経済の概況

令和4年11月-令和4年12月の統計データをもとに、札幌経済の概況を総括しています。

(1) 札幌の経済概況

| |
|--------------|
| 持ち直しの動きがみられる |
|--------------|

(2) 主な経済指標の動向

| 項目 | 概要 | 前年同月データとの比較 |
|-----------------|--|--|
| 個人消費の動向 (p.2~4) | ・11月の百貨店・スーパー販売額(札幌市)は435億円で、9か月連続で前年同月を上回る(+3.9%)。 | (百貨店・スーパー販売額) 418億円→435億円  |
| | ・11月のコンビニ、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの販売額の合計(北海道)は964億円で、13か月連続で前年同月を上回る(+5.0%)。 | (コンビニ、家電、ドラッグストア、ホームセンター販売額) 917億円→964億円  |
| | ・11月の新車登録台数(札幌運輸局管内)は8,071台で、3か月連続で前年同月を上回る(+9.0%)。 | (新車登録台数) 7,407台→8,071台  |
| 住宅着工の動向 (p.5) | ・11月の新設住宅着工戸数は、1,249戸となり、2か月振りに前年同月を下回る(▲13.9%)。 | (着工戸数) 1,451戸→1,249戸  |
| 鉱工業の生産動向 (p.5) | ・11月の鉱工業生産指数(北海道)は、83.3(季節調整済)となり、2か月振りに前月を下回る(▲4.1%)。 | (生産指数:季節調整済) 86.9→83.3 ※  |
| 公共工事の動向 (p.6) | ・12月の公共工事請負額(石狩管内)は、12億円となり、2か月連続で前年同月を下回る(▲57.2%)。 | (請負額) 29億円→12億円  |
| 雇用情勢 (p.6) | ・12月の有効求人倍率(札幌圏)は、1.00となり、18か月連続で前年同月を上回る(+0.11ポイント) | (有効求人倍率) 0.89→1.00  |
| 倒産状況 (p.7) | ・12月の企業倒産件数(札幌市)は、5件となり、前年同月から4件増加した。負債総額(札幌市)は、26.3億円となり、前年同月を上回る。 | (倒産件数) 1件→5件  |
| 観光客の動向 (p.7) | ・12月の来道客数(北海道)は98万人となり、14か月連続で前年同月を上回る(+20.4%)。 | (来道客数) 82万人→98万人  |

※鉱工業生産指数は前月データとの比較

※下線部は、前月から変更となった部分

(3) 参考(他機関の概況判断)

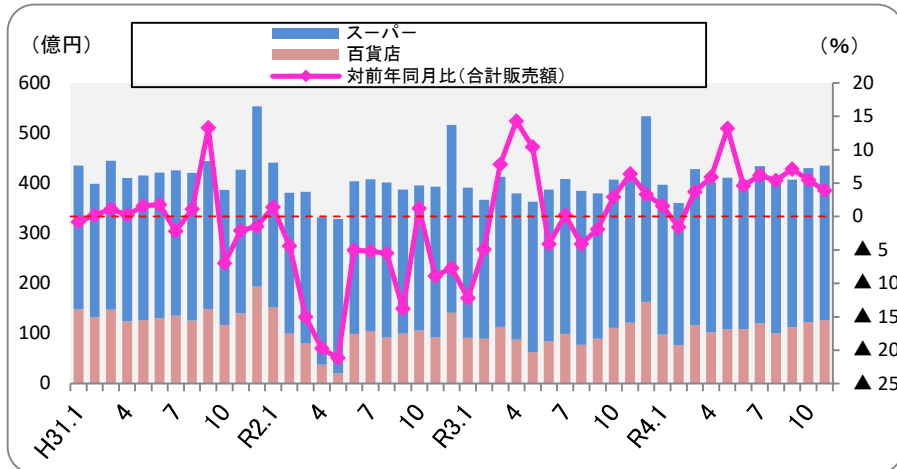
| 項目 | 全国の動向 | 北海道の動向 |
|------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | 内閣府「月例経済報告」 (令和5年1月25日発表) | 北海道経済産業局 「管内経済概況」 (令和5年1月18日発表) |
| 全体 | <u>このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している</u> | 持ち直しの動きに弱さがみられる |
| 個人消費 | 緩やかに持ち直している | <u>緩やかに持ち直している</u> |
| 住宅投資 | 底堅い動きとなっている | <u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u> |
| 設備投資 | 持ち直している | 増加している |
| 生産 | 持ち直しの動きに足踏みがみられる | 弱い動きとなっている |
| 公共投資 | 底堅く推移している | 減少した |
| 雇用情勢 | 持ち直している | 緩やかに持ち直しの動きがみられる |
| 企業倒産 | <u>低い水準であるものの、このところ増加がみられる</u> | <u>件数は減少、負債総額は増加した</u> |
| 観光 | — | 緩やかに改善している |

2. 主要経済指標の動き

個人消費、雇用状況、倒産の状況など、最近の主要経済指標の推移をご紹介します。

● 個人消費の動向（その1）

【図1】百貨店・スーパー販売額の推移(札幌市) 11月分

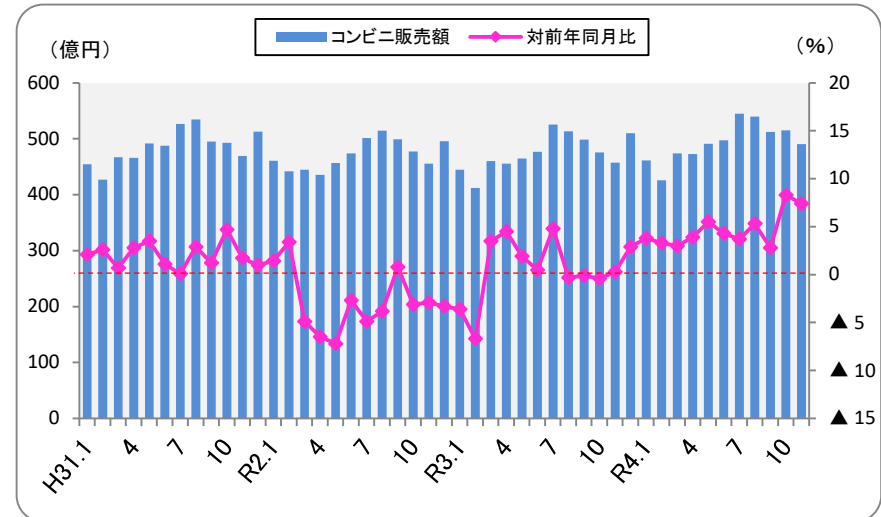


* 品目別百貨店・スーパー販売額前年同月比(札幌市) (%)

| | 合計 | | | | |
|------|------|-------|------|------|------|
| | 衣料品 | 身の回り品 | 飲食料品 | その他 | |
| 合計 | 3.9 | 3.3 | 0.5 | 3.8 | 5.6 |
| 百貨店 | 4.5 | 5.4 | 2.1 | ▲0.9 | 11.2 |
| スーパー | ▲3.7 | ▲3.0 | ▲4.6 | 4.5 | 2.5 |

<資料>北海道経済産業局

【図2】コンビニ販売額の推移(北海道) 11月分



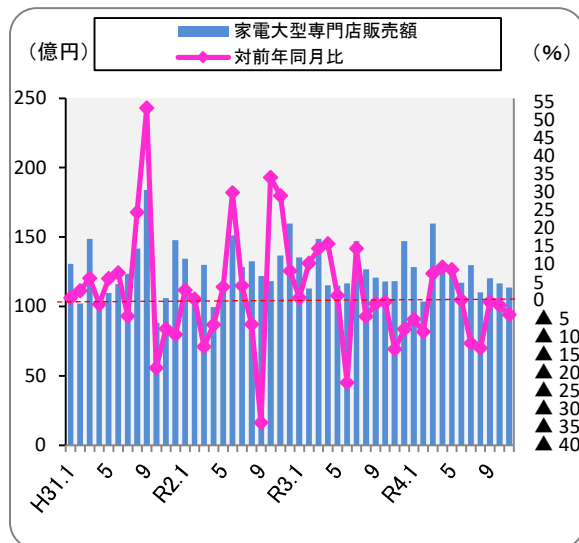
<資料>北海道経済産業局

- 令和4年11月の百貨店・スーパー販売額(札幌市)は435億円で、9か月連続で前年同月を上回りました(+3.9%) (図1)。業態別では、百貨店(+4.5%)、スーパー(+3.7%)ともに前年同月を上回りました。品目別では、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他の全ての項目で前年同月を上回りました。
- 令和4年11月のコンビニエンスストア販売額(北海道)は491億円で、13か月連続で前年同月を上回りました(+7.4%) (図2)。

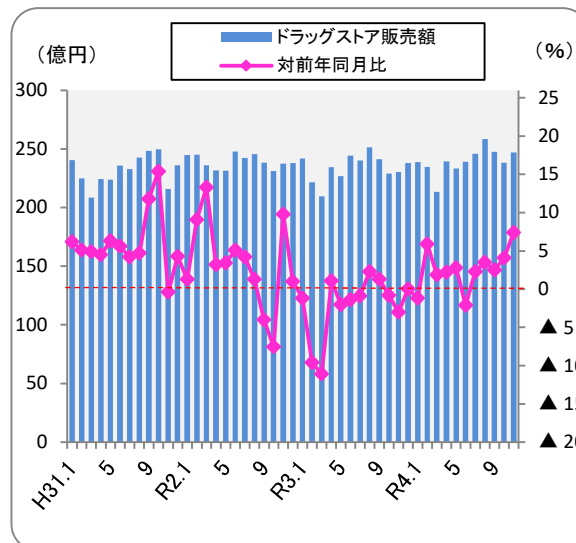
※百貨店スーパー販売額については、令和2年3月に対象事業所の見直しを行ったため、対前年同月比の数値調整を行っています。

● 個人消費の動向（その2）

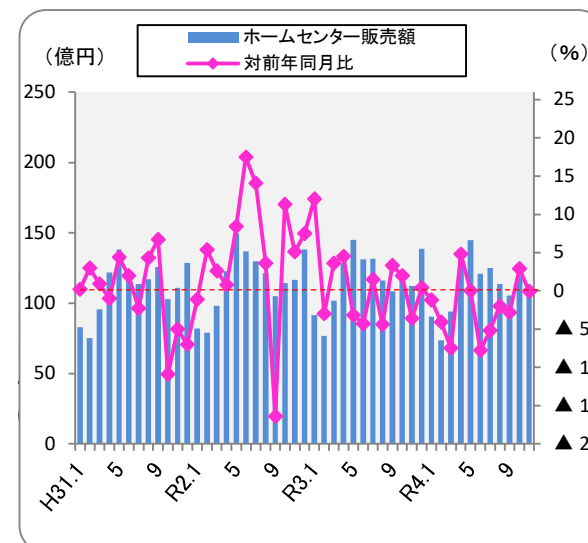
【図3】家電大型専門店販売額の推移（北海道）
11月分



【図4】ドラッグストア販売額の推移（北海道）
11月分



【図5】ホームセンター販売額の推移（北海道）
11月分

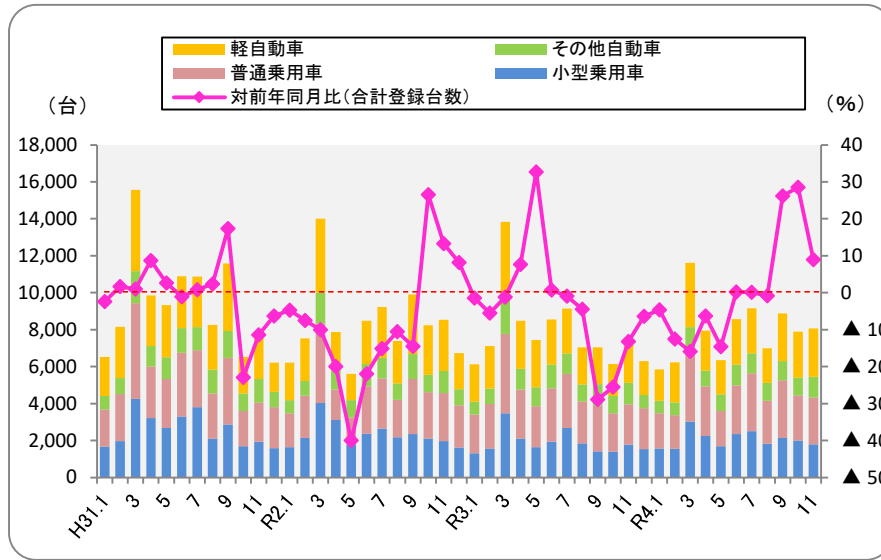


<資料>北海道経済産業局

- 令和4年11月の家電大型専門店販売額（北海道）は、114億円で、5か月連続で前年同月を下回りました（▲3.9%）（図3）。
- 令和4年11月のドラッグストア販売額（北海道）は、247億円で、5ヶ月連続で前年同月を上回りました（+7.4%）（図4）。
- 令和4年11月のホームセンター販売額（北海道）は、112億円で、2か月振りに前年同月を下回りました（▲0.1%）（図5）。

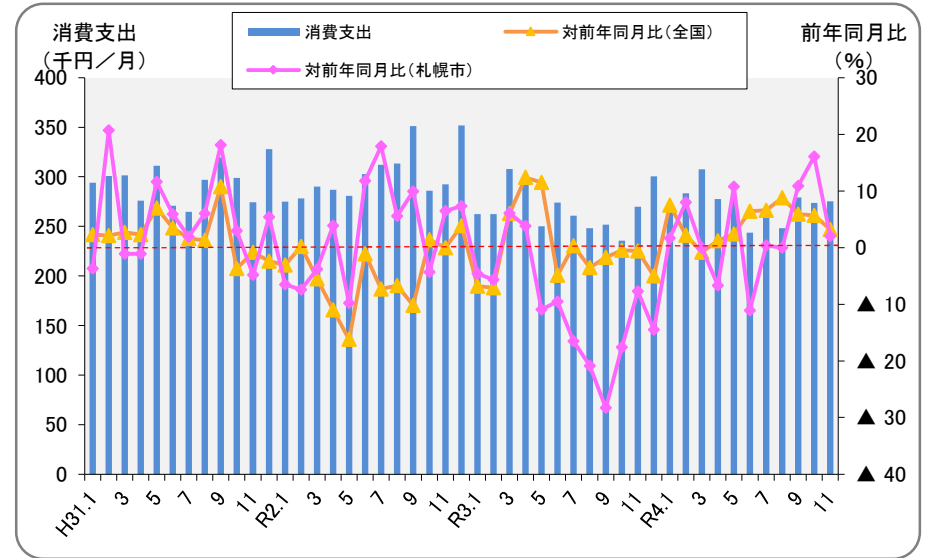
● 個人消費の動向（その3）

【図6】新車登録台数の推移(札幌運輸局管内)11月分



<資料> 自販連札幌支部、全国軽自動車協会連合会札幌地区事務取扱所

【図7】消費支出(札幌市) 11月分



集計世帯数
全国:7,308 札幌市:92

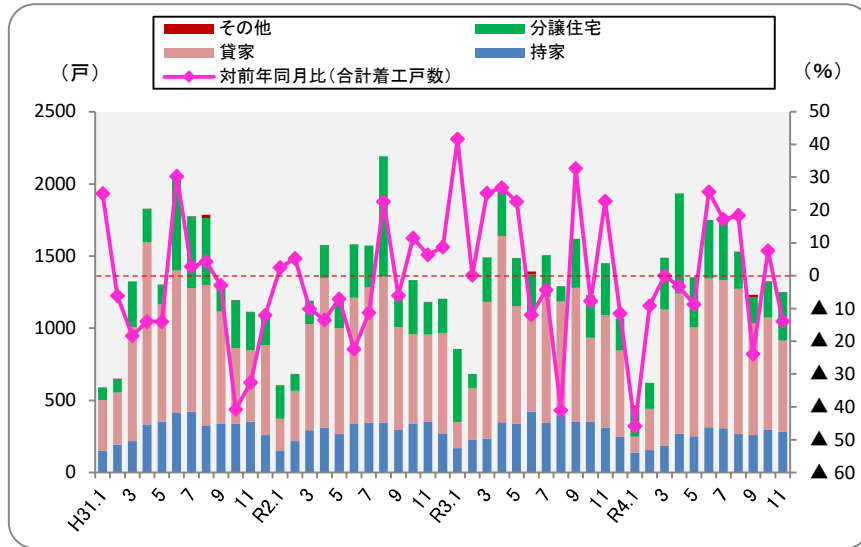
<資料> 総務省統計局「家計調査」

○令和4年11月の新車登録（届出）台数（札幌運輸局管内）は、8,071台となり、3か月連続で前年同月を上回りました（+9.0%）。車種別では、普通乗用車（+16.7%）、小型乗用車（+0.6%）、軽自動車（+14.2%）の全てが前年同月を上回りました（図6）。

○令和4年11月の家計調査（総務省統計局）によると、一世帯当たり（二人以上の世帯）の消費支出は275,132円となり、前年同月から3か月連続で上昇となりました（+2.0%）（図7）。

● 住宅着工の動向

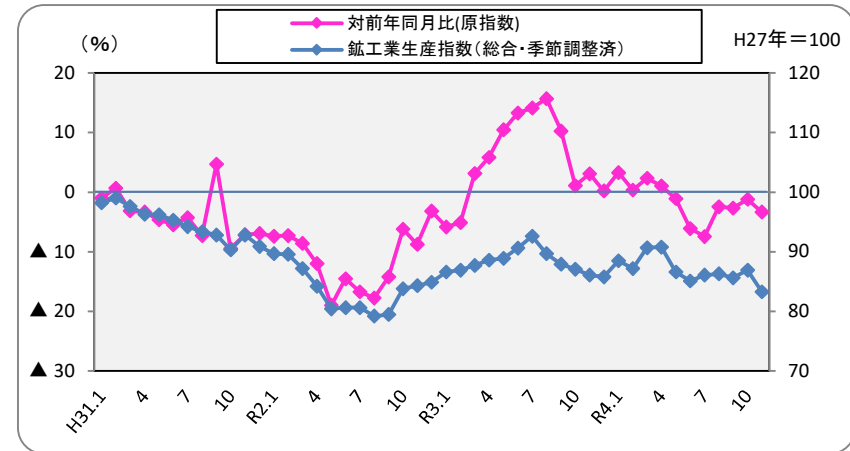
【図8】新設住宅着工戸数の推移(札幌市) 11月分



<資料>国土交通省

● 鉱工業の生産動向

【図9】鉱工業生産指数の推移(北海道) 11月分



* 主な業種別の前月に対する上昇・低下項目(北海道)

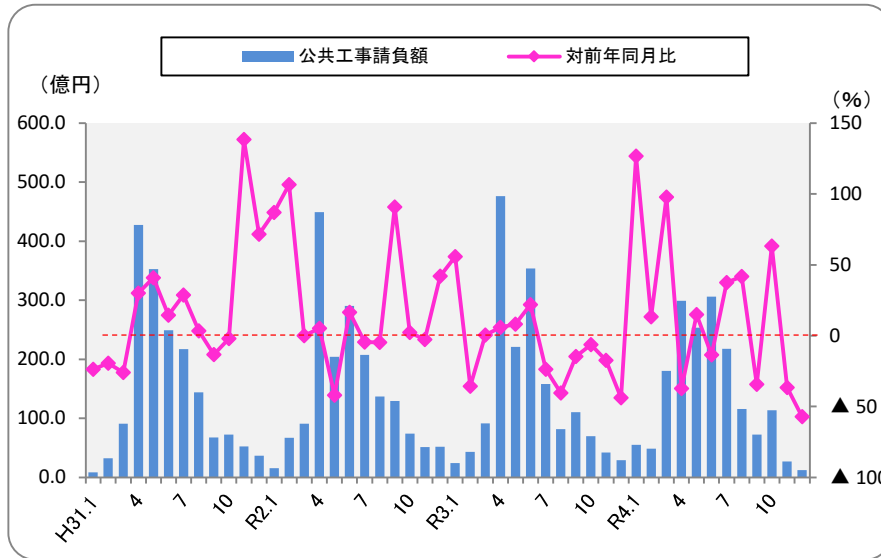
| | 業種 | ウエイト(%) | 季節調整済指数 | 前月比(%) |
|----|--------------|---------|---------|--------|
| 上昇 | パルプ・紙・紙加工品工業 | 13.1 | 61.3 | + 3.5 |
| | 金属製品工業 | 7.6 | 73.8 | + 3.1 |
| | 印刷業 | 4.1 | 79.1 | + 1.9 |
| 下降 | 鉄鋼業 | 7.9 | 92.4 | ▲ 2.6 |
| | 食料品工業 | 25.9 | 102.2 | ▲ 3.5 |
| | 輸送機械工業 | 6.8 | 74.3 | ▲ 11.2 |
| | 化学・石油石炭製品工業 | 7.6 | 69.9 | ▲ 19.2 |

ウエイトは鉱工業生産指数(北海道)全体への影響の大きさを表すもの。
上記の7業種については、札幌市の製造業における付加価値額が大きいものから選定した。
<資料>北海道経済産業局

- 令和4年11月の新設住宅着工戸数(札幌市)は1,249戸となり、2か月振りに前年同月を下回りました(▲13.9%) (図8)。内訳は、持家が▲9.0%、貸家が▲19.3%、分譲住宅は▲6.7%でした。
- 令和4年11月の鉱工業生産指数(北海道)は、83.3(季節調整済指数、速報値)となり、前月比▲4.1と2か月振りに下回りました(図9)。
なお、前年同月比でも▲3.3%(季節調整を行わない原指数)と下回りました。

● 公共工事の動向

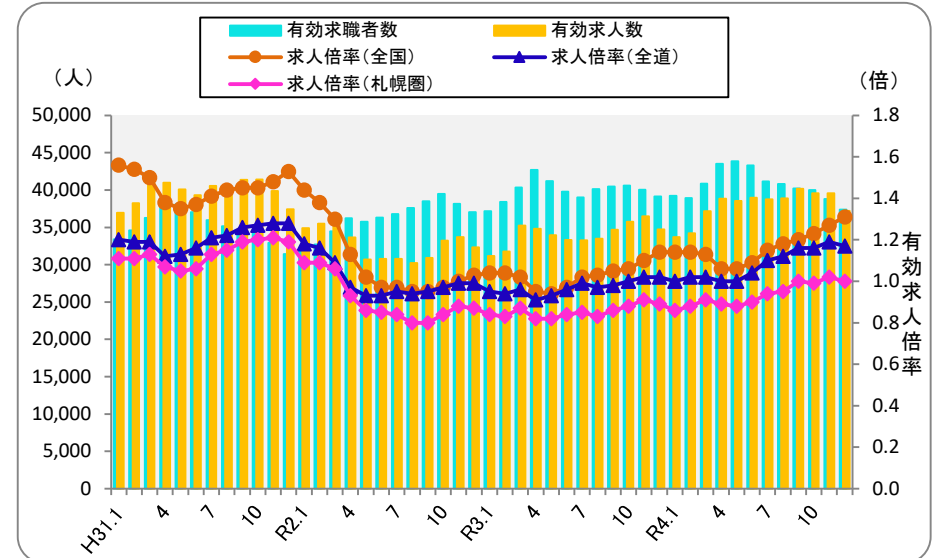
【図10】公共工事請負額の推移(石狩管内) 12月分



<資料>北海道建設業信用保証㈱

● 雇用情勢

【図11】求職・求人、有効求人倍率の推移(札幌圏) 12月分

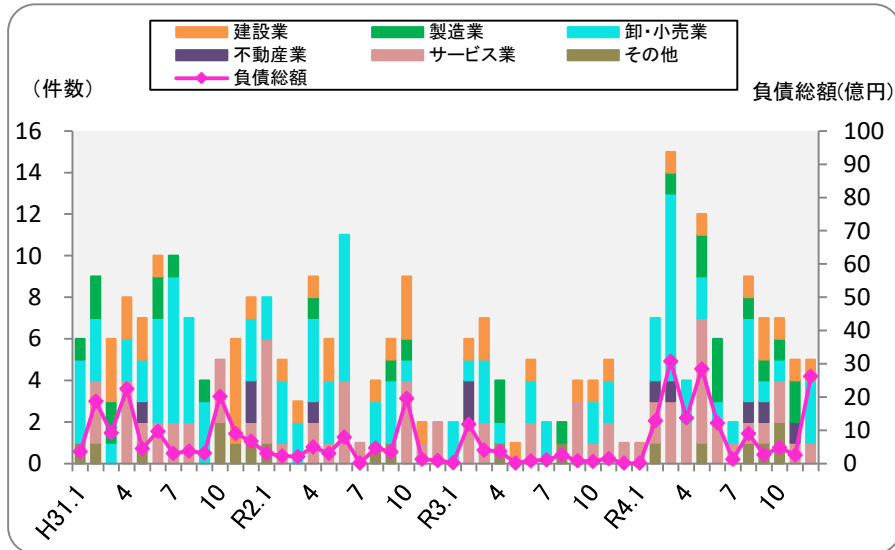


<資料>厚生労働省・北海道労働局
 ※札幌圏とは、札幌市、江別市、北広島市、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村を指す。
 ※上記数値は、学卒を除き常用パートタイムを含む。

- 令和4年12月の公共工事請負額(石狩管内)は12億円となり、2か月連続で前年同月を下回りました。(▲57.2%) (図10)。
- 令和4年12月の有効求人倍率(札幌圏)は、1.00と、18か月連続で前年同月を上回りました(+0.11ポイント) (図11)。
- 有効求人数は21か月連続で前年同月を上回りました(前年同月比+7.0%)。また、有効求職者数は4か月連続で前年同月を下回りました(前年同月比▲4.5%)。

● 倒産状況

【図12】企業倒産件数と負債総額の推移(札幌市) 12月分



＜資料＞株式会社帝国データバンク
 ※会社更生法、民事再生法、破産法、特別清算による負債額1,000万円以上の法的整理が対象。

○令和4年12月の法的整理による企業倒産件数(札幌市)は5件で、前年同月から4件増加しました。負債総額は26.3億円で、前年同月を26.2億円上回りました(図12)。

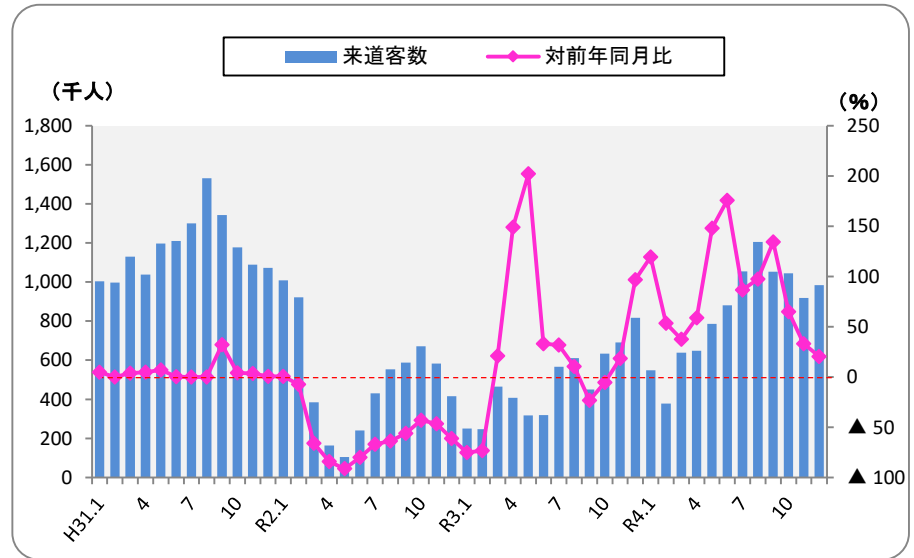
なお、負債額が10億円を超える大型倒産が1件ありました。

○令和4年12月の来道者数(北海道)は98万人で、13か月連続で前年同月を上回りました(+20.4%) (図13)。

【参考】令和4年12月の外国人入国者数(新千歳空港)は10万人でした(図14)。

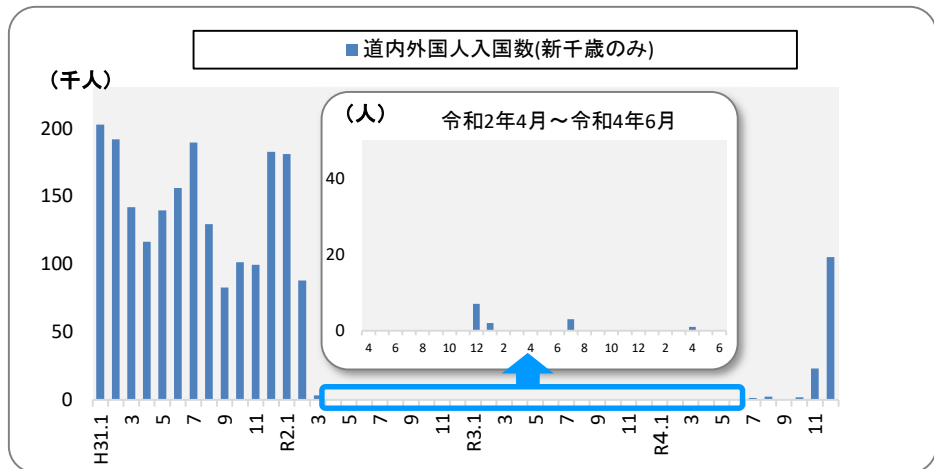
● 観光客の動向

【図13】来道者数の推移(北海道) 12月分



＜資料＞(公社)北海道観光振興機構

【図14:(参考)】外国人入国者数(新千歳空港)12月分



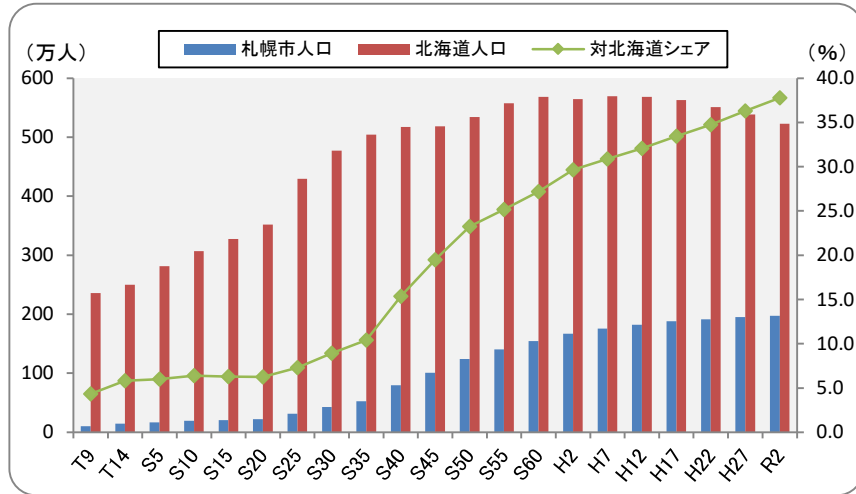
＜資料＞出入国管理統計統計

3. 札幌の産業規模

札幌の産業規模を、「人口」、「事業所数・従業者数」、「市内総生産」等の分野ごとに紹介します。

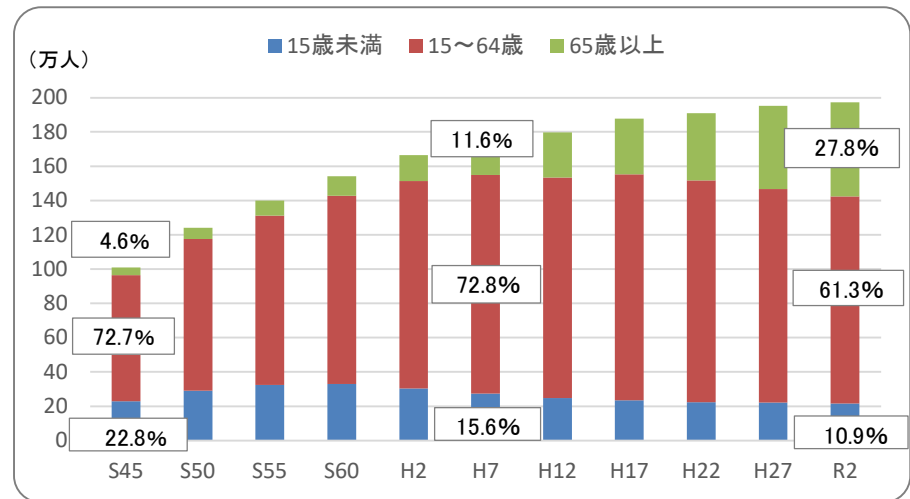
● 札幌市の人口

【図15】札幌市・北海道の人口の推移(外国人を含む)



<資料>総務省統計局「国勢調査」、北海道総合政策部地域行政局、札幌市まちづくり政策局政策企画部 (人口数は各年10月1日現在)

【図16】札幌市の年齢別人口の推移(外国人を含む)



<資料>総務省統計局「国勢調査」、札幌市まちづくり政策局政策企画部 (人口数は各年10月1日現在)

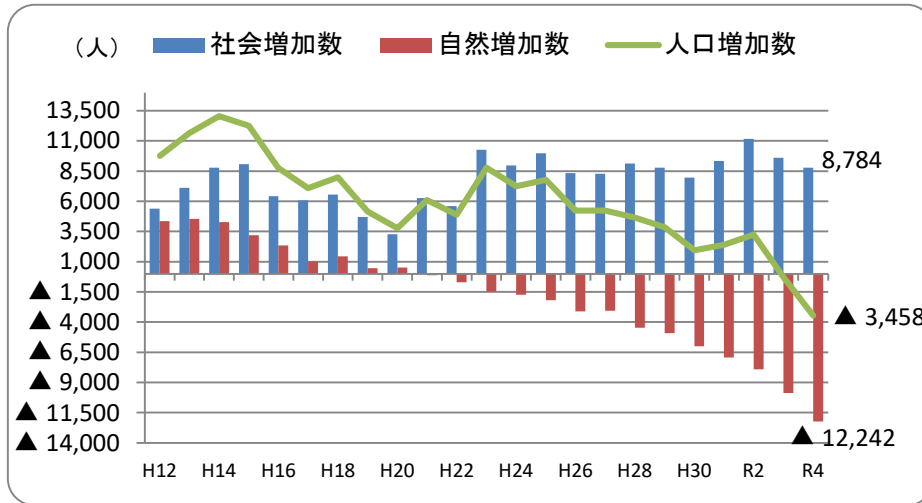
○国勢調査による5年毎の人口推移をみると、近年、札幌市は人口増加率が鈍化傾向にあります。また、札幌市の人口の対全道シェアは年々高まっており、令和2年は37.8%となっています(図15)。

○また、5年毎の年齢別人口の推移を見ると、65歳以上の人口の割合が増加する一方で、15歳～64歳の生産年齢人口の割合が減少する傾向が続いています(図16)。

3. 札幌の産業規模

札幌の産業規模を、「人口」、「事業所数・従業者数」、「市内総生産」等の分野ごとに紹介します。

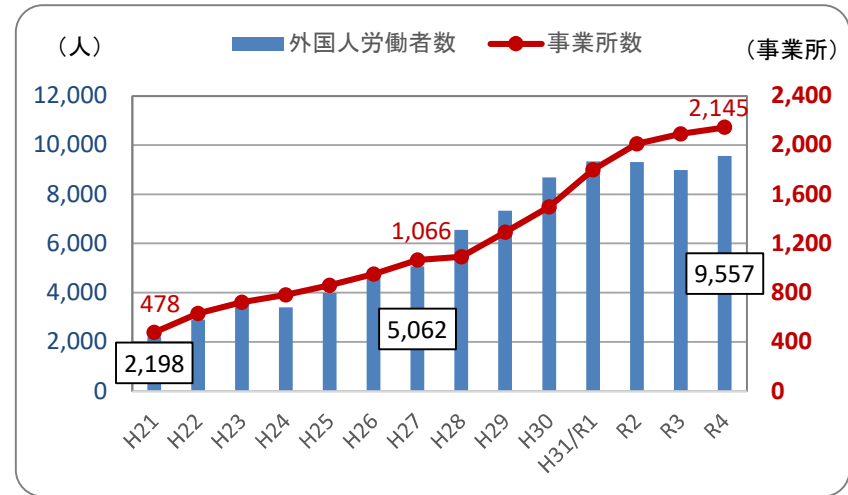
【図17】札幌市の人口動態の推移(日本人のみ)



<資料>札幌市住民基本台帳

● 札幌圏の外国人雇用状況

【図18】札幌圏の外国人雇用事業所数及び外国人労働者数



<資料>厚生労働省北海道労働局「外国人雇用状況の届出状況」
(各年10月末現在)

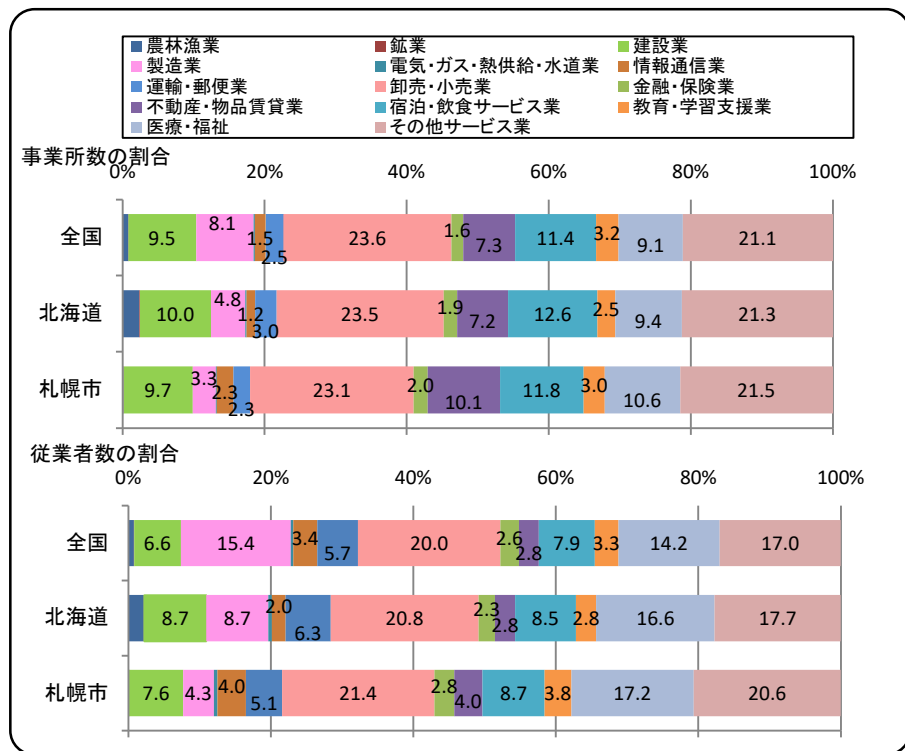
※札幌圏とは、札幌市、江別市、北広島市、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村を指す。

○住民基本台帳による近年の人口動態の推移をみると、自然増加(出生-死亡)は平成21年からマイナスに転じており、少子化傾向が表れています。その一方、社会増加(転入-転出)は平成24年から概ね8千~9千人台の規模で推移しています。令和3年には自然減少数が社会増加数を上回ったことで人口減少に転じ、令和4年も自然減少数(▲12,242人)が社会増加数(+8,784人)を上回り、人口減少(▲3,458人)が進んでいます。(図17)。

○また、札幌圏の外国人雇用状況の推移をみると、近年、外国人雇用事業所数及び外国人労働者数はともに増加傾向にあり、外国人労働者数は令和2年、令和3年に減少しましたが令和4年は増加に転じ、過去最多(9,557人)

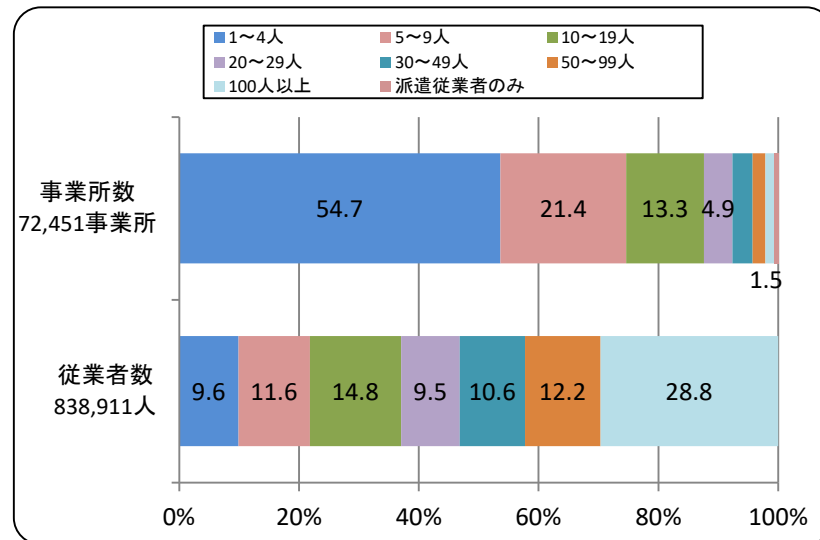
札幌市事業所数・従業者数

【図19】事業所数と従業者数の産業別内訳(民営)(令和3年6月1日現在)



＜資料＞総務省統計局 令和3年「経済センサス活動調査(速報値)」

【図20】従業者規模別事業所数及び従業者数の割合(民営)(平成28年6月1日現在)



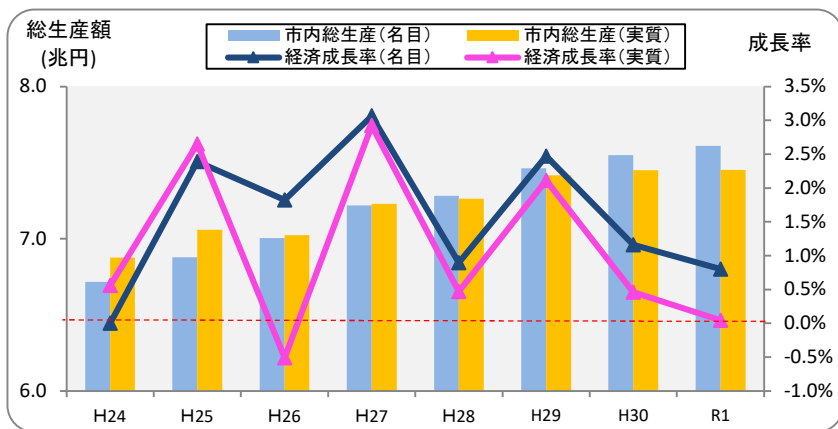
＜資料＞総務省統計局 平成28年「経済センサス活動調査」

○札幌市の産業構造は、事業所数、従業者数とともに、全国に比べて製造業などの2次産業の割合が低く、3次産業が中心となっています(図19)。

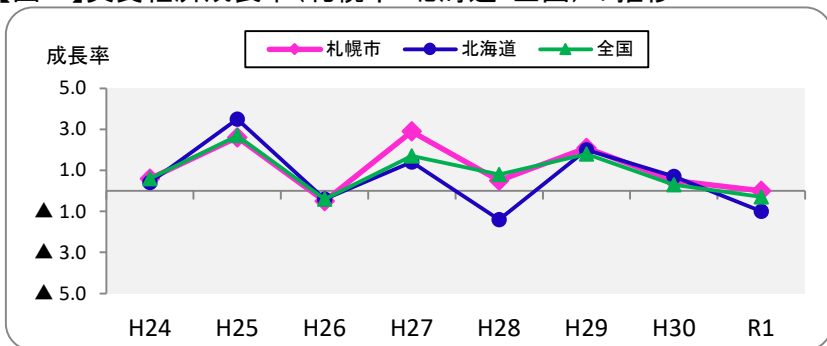
○従業者規模別に札幌市の事業所数をみると、従業者「1~4人」が全体の53.6%と半数以上を、事業所規模9人以下の事業所が、事業所全体の約4分の3を占めています。また、「100人以上」の事業所は、事業所数では事業所全体のわずか1.4%ですが、従業者数では約3割を占めています(図20)。

札幌の市内総生産・市民所得

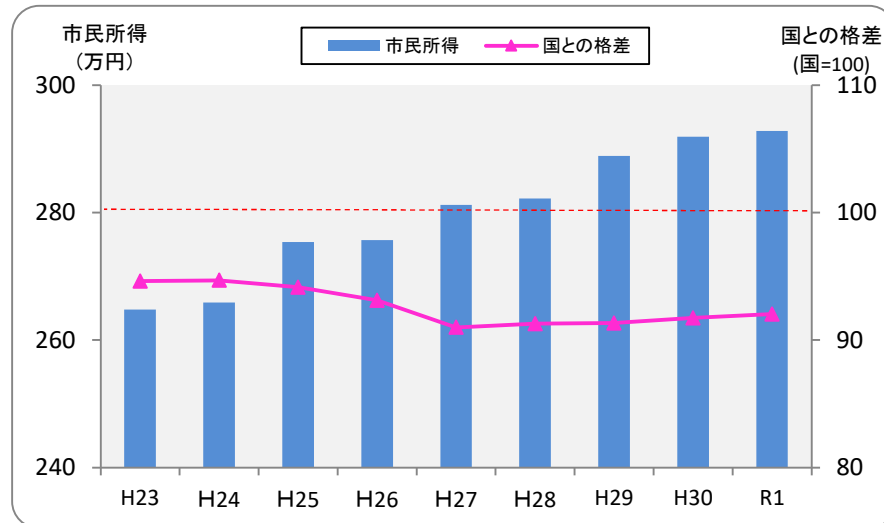
【図21】総生産額・経済成長率の推移



【図22】実質経済成長率(札幌市・北海道・全国)の推移



【図23】札幌市の一人当たり市民所得と国民所得との格差の推移

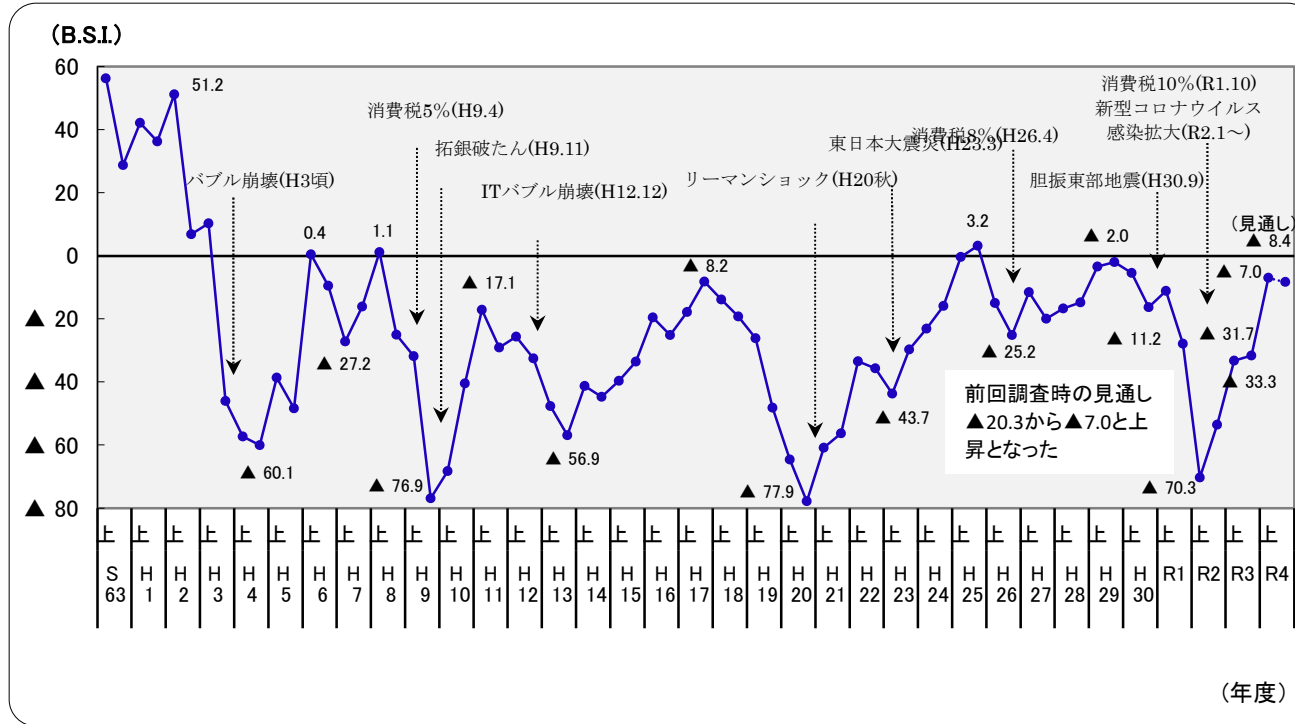


＜資料＞内閣府「令和元年度国民経済計算」、北海道「令和元年度道民経済計算」、まちづくり政策局政策企画部「令和元年度札幌市民経済計算」

- 令和元年度の札幌市の市内総生産は、名目7兆6100億円（経済成長率+0.8%）、実質7兆4530億円（経済成長率+0.0%）です。名目は8年連続のプラス、実質は5年連続のプラスとなっています（図21）。
- 令和元年度の実質経済成長率は、札幌市+0.0%に対し、全道▲1.0%、全国▲0.3%となっております（図22）。
- 令和元年度の市民1人当たりの市民所得は、2,928千円で5年連続で増加（+0.3%）となりました。また、札幌市の1人当たり市(国)民所得の対全国比(全国=100)は92.0で、前年度と比べて0.3ポイント上昇しました（図23）。

● 市内企業の景況感

【図24】企業経営動向調査の結果



※B.S.I.(景況判断指数)
 景気が以前と比較して、「上昇している」と回答した企業の割合から「下降している」と回答した企業の割合を差し引いた数値。札幌市では、毎年度2回調査を実施している。

○令和4年度上期（R4年4月～R4年9月）の市内の景気について、令和3年度下期に比べて「上昇」とみる企業の割合（21.1%）から「下降」とみる企業の割合（28.1%）を減じた市内景況判断B. S. I. は、▲7.0であり、4期連続の上昇となりました。（図24）。

○令和4年度下期（R4年10月～R5年3月）の市内の景気の見通しについて、今期に比べて、「上昇」とみる企業の割合（15.6%）から「下降」とみる企業の割合（24.0%）を減じた市内景況判断B. S. I.（見通し）は▲8.4となり、今期（▲7.0）と比べて下降の見通しとなっています（図24）。

